

## 小坂地域 地域おこし協力隊事業実施計画書

### 下呂市小坂町はこんなところですよ！



- ・“日本一滝の多いまち”。200を超える数の滝があり、滝めぐりのガイドをするNPOが精力的に活動しています。この取り組みは、「小坂の滝めぐり」として“岐阜の宝もの”第1号に認定され、令和5年には、世界から選ばれる旅先となることが期待できる地域・観光プログラム「岐阜未来遺産」第1号にも認定されました。
- ・温泉だって湧いています。濁河温泉、湯屋温泉、下島温泉の三つの温泉地があり、濁河温泉は標高1,800mの高所で通年営業する温泉として人気を集め、湯屋と下島の温泉は日本屈指の炭酸泉なんです。
- ・国内最高レベルの高地トレーニング施設が整備されています。国内外のトップアスリートからも脚光を浴びています。
- ・道の駅周辺は4月中旬になると“はなもも”が満開となる散策スポットです。
- ・昭和の時代には木材の町として栄え、森林の面積は町の約97%。今も多くの森林資源があります。
- ・御嶽山周辺を国定公園化に向け、準備を進めています。

### そして、こんな課題を抱えています



- ・“小坂地域”の魅力をもっとたくさんの人に知ってほしい。
- ・観光施設を経営できる後継者不足に悩んでいる。
- ・特産品の需要・販売拡大をしたい。
- ・地元の人たちにも自分たちの地域の魅力を知ってほしい。

### 隊員の方にこんなことをお手伝いしてほしい



- ・「外からの目」を求めています。地域住民が提供しようとする価値は、外部の人にとっては当たり前のことである一方、外部の人が求める価値が地域住民にとっては当たり前のことであったりするのです。旅行者（地域を訪れる外部の人）と集落に暮らす地域住民との価値観に相当な格差があるのです。下呂市小坂町に暮らす私たちにとっては当たり前すぎて気づかない「価値」の可視化（観光資源化）に取り組んでほしい。
- ・「企画力」を求めています。小坂地域の魅力の再点検をしながら、市民には気づかない価値（コンテンツ）の洗い出し活動とその整理、をおこない、小坂地域の観光施設との連携に取り組んでほしい。
- ・「アイデア」を求めています。コロナ禍以降の観光客の減少や特産品の売上減少に苦慮しています。下呂温泉や高山には多くの国内外のお客様が訪れるていることから、中間地点にあるこの地域にも観光客が訪れることができるように、取り組んでほしい。また、地域産品を活用した新しい特産品の開発や現在ある特産品の販売拡大に取り組んでほしい。
- ・「行動力」を求めています。地域づくりを地域自体が率先して進められるよう、地域住民の方と行政との間の新たな仕組みの構築を目指しています。地域の一員に加わって地域づくりに取り組んでほしい。